

第2回別府市公共施設再編計画検討委員会 議事録

日時：平成 28 年 11 月 2 日（水）16 時 30～18 時 30 分

会場：別府市役所 1 階 レセプションホール

出席者：【別府市公共施設再編計画検討委員会委員】

福谷委員、井上委員、波多野委員、河野委員、幸委員、笠木委員

【事務局（公民連携室）】

稲尾室長、大野補佐、安部主査、倉町主査

【公共施設再編計画策定支援業務受託者】

（株）三菱総合研究所 2 名

1. 開 会 省 略

2. 議 題

(1) 『別府市公共施設利用者アンケート結果』について

(事務局説明)

省略

(質疑応答)

- 委 員：「他の施設と一緒にするとしたら、どんな施設がよいと思うか」という質問で、高齢者福祉施設と回答した人が多いが、具体的にどのような施設か。
- 事務局：アンケートでは「地域包括支援センターなど」と例示した。マネジメントの対象施設である別府市直営の高齢者福祉施設は 1 施設しかないが、それを示すのではなく、民間の社会福祉法人に委託している地域包括支援センターをイメージして回答してもらった。
- 副委員長：出張所の市外利用者が 1 割以上いるが、出張所は通常、市役所の出先機関であり、市外住民が来るイメージがない。
- 事務局：推測での回答となるが、転入届や介護施設入居者などの親族が代理申請や付き添いで来庁する可能性がある。
- 副委員長：アンケートに来庁者全員の意向は反映されているか。
- 事務局：アンケートは任意回答のため、来庁者全員とは限らない。出張所などは回答数が少ないが、来庁者自体が少ないのか、回答者が少ないのか不明である。
- 副委員長：スポーツ施設などで記入する利用申込書によってデータの把握は可能か。

- 事務局 : 管理状況にばらつきがあり、把握できる施設と把握できない施設がある。データが不十分な施設もある。
今後、施設所管課で全体の利用分析は必要であると考えている。
- 副委員長 : もし、データ収集が可能であり、必要なデータがあれば収集してはどうか。
- 事務局 : 可能であると思われるが、現在はそこまでできていない。
- 委員長 : アンケート結果と全体的な利用実態との乖離も視野に入れた検討が必要である。

(2)『別府市公共施設最適配置計画の用途別方針』について

(i)「庁舎」「出張所」「消防庁舎等」について

(事務局説明)

省略

(質疑応答)

(a)「消防庁舎等」について

- 副委員長 : 消防に係る施設は法令で数や位置など決まっていないのか。
- 事務局 : 消防組織法で「消防本部及び消防署の設置、位置及び名称並びに消防署の管轄区域は、条例で定める。」と規定されている。所管課では、消防車や救急車が到着する時間など配慮していると考えられる。
法的基準については、確認のうえ回答したい。
- 委員長 : 消防や救急に関しては、施設総量よりも安全が確保されることが重要と思われる。

(b)「出張所」について

- 委員 : 「マイナンバー制度の運用開始及び今後の個人番号カードの普及に伴い、出張所ではマイナンバーカード保持者の住民異動（転入・転居等）について、業務の見直しが必要となります。」という記載があるが、具体的にはどのような業務の見直しが必要で、どの程度コストがかかるのか。
- 事務局 : マイナンバー導入により、本庁舎では認証端末が設置されているが、現状では出張所では認証端末がないため受付ができない。また、正職員の管理・監督の下でしか取扱いが出来ないなど、人員配置を見直す必要がある。今後、出張所でマイナンバーを処理することができるようにするのか検討が必要である。
本庁舎に業務を集約した場合、利便性の部分はコンビニで住民票などを発行できるようにするなど、検討が必要である。
- 委員 : マイナンバー導入により住民票添付などが省略されていくと同時に、市民課の出張所としての機能は縮小されていくと想定される。公民館などの施設との複合化も考慮していく必要性がでてくる。
出張所にこだわらず、時代ニーズに合わせ、福祉相談や休日対応などソフト面を充実させた市民サービスを担う施設をつくっていった方がいいのではないか。

- 委員 : 朝日出張所は旧耐震の民間建物を賃借しているが、民間建物の所有者は耐震補強を予定しているのか。予定していないならば他の施設を検討してよいのではないか。
- 事務局 : 市で具体的な協議はしていない。市民の安全性を考慮していく必要がある。
- 委員 : 別府市はコンパクトな街である。公共交通機関の利便性が向上すれば、あえて出張所の必要性があるのか、という視点で考える必要がある。
施設建設当時に必要とされていた機能と、将来的に必要とされる機能は異なってくる。現時点ではなく、将来的に必要とされる機能を考慮しながら再編していく必要があるのではないか。
- 事務局 : 庁内のマネジメント推進会議でも出張所は議題となった。必要な行政サービスは時代の変化に対応していく必要がある。マイナンバー導入により施設のあり方をどのように考えていくかも検討が必要であるが、必要な行政サービスを考えていくうえで皆さまの意見をお伺いしたい。
- 委員 : 市民課の出先機関としての出張所の機能は縮小していく。しかし、出張所の利用者が施設を廃止するのは困ると回答すると思う。利用者が当該施設しか使うことができず等のデータが必要となる。また、3出張所の利用状況は、3出張所を合計すると、本庁を含めた総取扱量の20%を超える数字だが、個々の出張所を見ると5%~8%である。他の施設との統廃合など必要となってくる。
今後施設の統廃合が必要となるが、北部地区の公共施設の多くが津波のハザードマップの浸水地区内にあるため、その点の考慮も必要である。
- 副委員長 : 現在、小学校中学校の統廃合が進んでいる。廃校になればスクールバスで統合された学校に登校することとなる。同様に出張所を廃止する場合、公共交通機関で対応するなど、当該出張所を使用していた方々が手続できるような代替措置などを検討してはいかかがか。
また、法令上無理かもしれないが、例えば本庁舎まで来れば各種証明書の発行手数料が安くなるなどのインセンティブを付けるのも有効かもしれない。
- 委員 : 中長期的には出張所はなくなってくると考えている。問題は現在の利用者がどのようになるのかである。本庁舎に集約された場合に公共交通機関の便などを考慮し、公共交通政策と連携しながら検討していく必要がある。
- 事務局 : 公共施設マネジメントは公共交通政策と関連性があり、関係部署（課）が連携していく必要がある。

(ii) 「ホール」「公民館」「地域コミュニティ施設」「その他集会」について

(事務局説明)

省略

(質疑応答)

副委員長 : 別府市中央公民館は使用目的が限定されているが、その限定を外すことは困難なのか。

生涯学習課長(施設所管課) : 別府市公会堂は、1階が中央公民館、2階が市民会館となっており、1階中央公民館のみが社会教育施設となっている。社会教育施設の使用は使用目的が限定されるということではなく、できない部分があると理解していただきたい。例えば、特定の政党や宗教を支援することができない。2階市民会館は特に使用目的は限定されていない。許可があれば物販も可能である。

委員 : 公民館の利用率は低いということだが、曜日や月ごとのデータがあるか。月別、曜日別やシーズン別などの利用率なども含めて考慮していく必要がある。

事務局 : アンケート速報版では示していないが、アンケート項目に「利用日、時間帯」の質問がある。回答では「平日午前」「平日午後」が多い。土日は少数であるが先ほど井上委員のおっしゃるとおり全ての利用者の回答ではないので参考である。

委員 : 評価を稼働率で行うのはいかがか。使いたい時期や時間帯は重なってしまう。統廃合するならば、利用の重なりをみて稼働率を上げていくなど検討していくべきではないか。また、稼げる施設では、稼ぐことを考えていく必要がある。例えば、市民ホールで開催されるアルゲリッチ音楽祭はチケットの入手が難しいが、県外旅行社が主催するツアーの団体客がよい席を確保し、湯布院に宿泊している。別府市は観光が主要産業なので、別府市に宿泊してもらうなどコーディネートを考えていかななくてはならない。

事務局 : 年間の利用可能コマ数を午前午後と分け、それに対して1時間でも利用したならば1コマ利用したとして機械的に算出したため、施設所管課の実感としての利用率とは異なる。また曜日等で細かく算出していないため、データ分析に課題はあると思う。一方で、実態として、平日しか講座を開催していないこともある。利用促進する場合は、参加しやすい日時にするなど検討していかなければならない。

委員 : 活用方法について、アンケートでも使用頻度と言っているが、高齢者のための健康維持のための体操教室や、同じ講座を受講するために何度も通う人など、特定の人の使用になっていないか。その場合、使用頻度も偏ってしまうので市民全体が何割利用しているかとは別のデータになる。公民館の幅広い利用促進は、利用する部屋をどのような団体が使用しているかなど利用団体の分析が必要となる。サークル活動などが活発な地域の場合は利用頻度も上がる。
また、公民館とコミュニティーセンターの部屋では利用形態が重なる。利用者にとっては、公民館もコミュニティーセンターも違いがない。

- 委員 :ハードとしての施設のあり方と、サービスとしての機能のあり方は別に考えるべき。
例えば、公民館としての利用のあり方はこうしなければならないということは脱却していかなければならない。公民館とコミュニティーセンターは同じ利用形態で使用される。利用団体の目的の分析が必要である。
利用者の交通手段は車が多く、地域で利用するよりも利用団体が利用目的に合う施設を探し、空いている曜日で料金の安い施設を予約すると思う。
全て同じ用途で使用されているならば統廃合など検討していくべきである。
- 副委員長 :インターネットなどを活用して、一度に空いている施設を確認できるシステムがあるとよい。
- 事務局 :のちほど協議するスポーツ施設の再編計画(案)では、「施設の稼働日(時間)など検索できる利用申請システムを利用者のニーズに合わせる」と記述しているが、ご指摘のとおり、公民館でも同様にそのような目線が必要であると考えます。
- 委員 :実際に公民館を体育館として利用されることは非常に多いと思う。
体育館、公民館、コミュニティーセンターを全てまとめて考えていったほうがよい。
- 委員 :施設の統廃合を考える場合は、市営の施設だけでなく、例えば区営温泉の集会所など、他営の施設も含めて統一的なシステムを考えていく必要がある。
- 委員長 :利用率が低すぎるため、再編成を考えるべきである。
- 委員 :施設を統廃合する場合、補助金の返還など一定の制限があったりするか。
- 事務局 :公共施設マネジメントは国も含めて同じ課題を抱えている。
文部科学省でも学校の複合化を推進するなど、以前よりは補助金返還を要求されなくなり要件が緩やかになっている。個別の施設では、いろいろルールがあるので考慮していかなければならない。
- 委員 :子育て支援など別の切り口で場所の提供を求めている人達もいるが、ニーズに応えるために施設用途を変更したり、貸し出したりしていくなどできないか。
- 事務局 :国の政策の方向性としては地域に密着し、地域のなかでニーズに応えることを考えている。高齢者の地域包括支援センターや、児童のための包括支援センターを地域に設置する場合に、例えば空き家などを利活用した時に国も補助する動きがあるので、地域資源の活用などを考えていく必要がある。
アンケートで『民間の施設で代わりに使えるものがある施設』の活用を選択された方は少なかったが、通常の民間施設を想定していたからで、広い意味で地域の集会できる施設などを考慮していかなければならない。
- 副委員長 :施設の総量は減らしてよいが、使いたい人が使えるように予約できるシステムなどソフト面での配慮が必要である。
- 委員長 :予算を投入しても利用されていないなど議員から指摘があると思うが、人件費など含め費用から施設をみることはできるか。
- 事務局 :ポートフォリオ分析で利用者一人あたり市負担額を示している。

- 委員長 : ポートフォリオ判定結果のⅢとⅣはコストがかかりすぎているということか。
- 事務局 : 基本的にはその通りである。ただ、別府市の公共施設は、計画保全を行わず最小限の施設整備しか行ってこなかったことと、施設の運営は非常勤職員や嘱託職員が行っているため、あまり費用をかけていない。そのため、利用者が少なくても財務の判定数値は良くなってしまおうというケースもある。
- 三菱総合研究所 : ポートフォリオは偏差値で評価しているため、平均値が変動すると全体も変動する。別府市だけで相対的に良い悪いということになるが、他市町村との比較も考えなくてはならない。慎重に検討したい。
- 委員長 : 人的コストをかけていないということは利用者にとってはサービスが悪いという可能性もある。

(iii) 「図書館」「美術館」について

(事務局説明)

省略

(質疑応答)

- 委員長 : 図書館・美術館については、別途、有識者らによる外部検討委員会が設置されているので、本委員会では、各委員の意見を述べるにとどめたい。
- 委員 : 美術館を別府市に置く必要があるのか。
発想をかえて「まちなか美術館」にする、ホテルのロビーに展示し歩いてもらうなど人目に多く触れるところに展示して、建物を建築するのではなく、今持っている財産を活かす視点も参考にしていきたい。
- 委員長 : 作品をいかに維持し活かすかである。大学など教育施設もそのようなコーナーを用意できる。
- 委員 : 個人的には、美術館の必要性を感じない。それよりも図書館を整備して欲しい。
- 委員 : 図書館は、駐車場も含めて充実させる必要がある。
- 委員 : 一般図書も重要だが、別府市は温泉のあるまちなので温泉の図書を充実させるなど、特色をだすのも良い。
- 委員 : 大分市のホルトホールのようなゆったり使用できる図書館が市民には使い勝手がよい。他市では図書館が中心市街地にあり、活性化につながっている。図書館はまちづくりのにぎわい、子育て環境、高齢者の活躍の場であったりするキーになる施設であると思うため、良い施設をつくってほしい。

以上